

平成 26 年度高知県福祉保健所コホート検討会実施計画

1 目的

DOTS 対象者全員の治療成績のコホート分析とその検討を行う。その中で治療不成功の原因を検討し、地域 DOTS 実施方法および患者支援の評価・見直しを行い、地域 DOTS 体制の推進を図る。あわせて、地域の結核医療及び結核対策全般における課題について検討を行う。

2 実施主体

安芸福祉保健所、中央東福祉保健所、中央西福祉保健所、須崎福祉保健所、幡多福祉保健所

3 実施方法

以下のとおり 2 つの実施体制で行うこととする。

(1) 合同福祉保健所コホート検討会

5 か所の県福祉保健所が合同で実施する。

ア 対象者

喀痰塗沫陽性患者

ただし、本検討会で検討が必要な対象者がいれば、事務局へ事前に相談のうえ、対象者に加えてもよいこととする。

イ 日程及び場所等

| | 開催日 | 時間 | 場所 | アドバイザー | 司会 | 書記 |
|-------|----------|---------------|-----------------|----------|-----|-----|
| 第 1 回 | 6 月 3 日 | 13 時 ～15 時 | 高知県保健衛 生総合庁舎 | 須崎福祉保健所 | 安芸 | 中央東 |
| 第 2 回 | 8 月 5 日 | | | 幡多福祉保健所 | 中央東 | 中央西 |
| 第 3 回 | 11 月 4 日 | | | 安芸福祉保健所 | 中央西 | 須崎 |
| 第 4 回 | 2 月 3 日 | | | 中央東福祉保健所 | 須崎 | 幡多 |

※各福祉保健所担当職員等は、準備、片づけ等のため、12 時半から 15 時半とする。

ウ 参加者

結核病床を有する医療機関：医師、看護師等

福祉保健所：医師、保健師、結核対策担当者等

健康対策課：結核担当者等

必要に応じて患者の服薬支援に関わる全ての職員の参加を得る。

エ 実施内容

対象者の治療開始から終了まで、「結核患者管理評価票」(様式 25)を資料として用い 3 ヶ月毎の各時期の評価項目(下表を参照)に基づいて、1 件ずつ担当者が内容を説明し参加者全員で検討する。また、各福祉保健所の所長又は保健監(アドバイザー)から助言を求める。

治療中断等が見られる患者については、中断に至った経過や治療を完成させるために実施すべき対策などについて検討を行い、その検討結果に基づき、対策を講じることとする。

検討会終了後日、各会の書記担当が「評価項目の集計結果」(様式 27)及び「コホ

「一ト検討会報告書」(様式 28) を作成し、各福祉保健所及び健康対策課に報告する。

| 評価項目 | |
|------------------------|-----------------------------------|
| 現四半期 (1~3 カ月前) | 初回面接、菌検査、接触者健診 (直後・2 ヶ月後) 予防可能例 |
| 前四半期 (4~6 か月前) | 菌検査 (培養・同定・感受性)、服薬状況 |
| 1 年前四半期 (13~15 カ月前) | 治療成績、最終菌検査結果、接触者健診結果 (6 カ月後・1 年後) |

オ 事務局

安芸福祉保健所 (主担当) 中央西福祉保健所 (副担当)

事務局は、会の運営に関する調整及び年度のまとめを行う。

(2) 各保健所コホート検討会

ア 対象者

新登録患者全数 (転入者含む)

イ 日程及び内容等

日程及び内容等については、各福祉保健所が定めることとする。

4 評価指標

(1) 治療終了者 (1 年前に登録された患者) に対して、治療成績を評価する。

| 指標値 | 治療失敗・脱落率 | DOTS 実施率 | LTBI 治療完了率 |
|------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 目標値 | 5%以下 | 95% | 85%以上 |
| 分母 | 対象年に新登録された肺結核喀痰塗沫陽性初回治療患者全数 | 対象年の新登録患者 (転入者を含む) 治療開始前及び治療開始 1 カ月未満に死亡した者及び転出者を除く ※LTBI は除く | 対象年に新登録された潜在性結核感染症治療対象者のうち治療を開始した者 (登録されたが治療を開始しなかった者については除く) |
| 分子 | 分母のうち登録翌年末の時点で治療失敗または治療脱落の者 | 分母のうち DOTS を実施したもの ※月を基本単位とし、治療期間中の月 1 回以上の服薬確認を実施 (完全実施) とする。 ※不測の事態等によって実施できない場合を考慮し、治療期間内の 2/3 を超える月数で、月 1 回実施ができていれば「実施 (準完全実施)」とする。 | 分母のうち治療を完了した者 |
| 評価場所 | 合同コホート検討会 ※治療失敗・脱落の理由を確認 | 主に各福祉保健所のコホート検討会 | |

(2) 治療中の登録患者に対して、治療状況を把握する。

ア 菌所見（培養・同定・感受性）の把握

評価のためのチェックポイント

- ・ 毎月の菌所見及び使用薬剤や治療状況、副作用の有無等の把握
- ・ 菌（培養）陰性化の確認
- ・ DOTS 実施状況（個別患者支援計画に沿った支援の評価）
- ・ 治療失敗、中断例については症例検討の実施
- ・ 接触者健診の状況

5 検討会のまとめ

反省及び成果についてまとめを行い、来年度以降の結核対策に向けて検討する。

(1) 開催日時及び場所等

平成 27 年 2 月 17 日（火） 13 時～15 時 30 分 高知県保健衛生総合庁舎

(2) 内容

ア コホート検討会のまとめ

(ア) 合同福祉保健所コホート検討会各期ごと評価項目の年間のまとめ

(イ) 「4 の評価指標」のまとめ

イ まとめと目的にそって分析、考察した成果と課題のまとめ

ウ 次年度計画（課題解決策があれば記入する）

(3) まとめは事務局が行い、各保健所、本課に送付する

6 経費

検討会の開催、運営に必要な経費は、健康対策課が予算の範囲内で令達するものとする。

結果・まとめ

| | 開催日 | 参加医療機関 | 検討数/対象者 | 治療失敗脱落率 |
|-----|-------|---------------------------------------|---------|---------|
| 第1回 | 6月3日 | 高知赤十字病院、国立高知病院、 高知医療センター | 23/26 | 11.1% |
| 第2回 | 8月5日 | 高知赤十字病院、国立高知病院、 | 18/24 | 0% |
| 第3回 | 11月4日 | 高知赤十字病、国立高知病院、 高知医療センター あき総合病院 | 21/22 | 0% |
| 第4回 | 2月3日 | 高知赤十字病、国立高知病院、 高知医療センター、 あき総合病院 | 23/26 | 20% |